

## 平成 17 年度鳳来町議会第 1 回定例会 (会期 3 月 4 日～22 日)

[サミット関係抜粋]

議会の初日、町長さんが述べた施政方針において鳳来町の一大イベントとして「第 11 回全国棚田サミットを絶対成功させる」と熱く示され、理解を求めました。

議員独自の視点から町政の側面を斬りとる一般質問においてサミット関連の案件が 3 件とりあげられました。その概要をお知らせします。

田村金次議員：四谷千枚田は先人が築き上げた偉大な文化遺産であり、その歴史こそ全国の皆さんに知って頂くことがサミットの目的と思う。千枚田の歴史を語ってくれる方の語り部が何人か必要と思うが対応は……

もう一点、棚田が持つ多目的な機能や、自然条件に調和した棚田が果たす役割を見つめ直すとともに、四谷の原風景である都市と山村の共生をじっくり目で味わって頂くために四谷地区の道路沿いの遊休農地に和牛の放牧を取り組んではどうか。

答 弁：語り部については 2 月 21 日に行われた千枚田保存会等との打ち合わせにおいて、地元での対応が了承されました。

放牧については、現在沿道沿いで 2～3 か所候補地を選定、農地の所有者と交渉の準備にかかっています。

加藤泰平議員：過去の慣例に囚われたり、一過性のサミットに終わる事なく、四谷地区でなくてはできない特色のある、地域の未来に繋ぐサミットにすべきだと思う。例えば、風景・石積みはもとより、あの高地にありながらコンコンと湧く清冽な岩清水、その背後にある山地・森林を科学的・歴史的に検証し、全国に発信して地域の人々が誇りをもって次世代に繋げるサミットにすべきだと思うが、実行委員会の理念と計画についてお聞かせ願いたい。

答 弁：実行委員会の理念と計画については、サミット開催要綱の開催趣旨にありますように全国 1 千におよぶ伝統的な圃場形態である棚田は、経済効率重視の風潮や、担い手の減少などにより、荒廃化が進み存続さえ危ぶまれています。先人達の知恵と努力によって築かれ、多くの人々の心によって守られてきた棚田の果たす役割は、農業生産活動を通じ国土の保全、水源の涵養、良好な景観形成などの多面的機能の発揮など計り知れないものがあります。そのため、全国の棚田を有する市町村、棚田保全に取り組む団体、個人が一堂に会し、生産の場としての水田にとどまらず、環境保全や文化、歴史遺産としての棚田保全の意義や必要性、また、コメが果たす役割についてお互いに理解しあい、都市住民など多くの国民の理解と合意を得て、中山間地域のさらなる維持活性化につなげようと全国棚田サミットを開催するものです。

なお、開催のテーマは、愛知万博のテーマが「自然の叡智」で環境問題をとらえたものであることから、これにちなみ、今回の棚田サミットでは「緑と水と心のオアシス」とし、山と水田、棚田をセットにした事業の一環として、棚田のもつ多面的機能を踏まえ、環境の保全、都市住民との交流を考えていくというものです。

また、過去のサミットにおいて中山間地特有な問題点などが議論され、「中山間地域直接支払制度」の実施、さらに、5 年間延長など一定の効果を上げています。

四谷千枚田は、サミット開催を起爆剤とし、今後につながる方策を図る絶好のチャンスととらえているとともに、先人の残した歴史的・文化的遺産として後世に残すと共に、そこに暮らす人々が誇りを持って安心して生活できる場となるためのスタートラインであると考えております。

夏目昌知議員：町長は棚田サミットを契機に NPO 法人を立ち上げて四谷千枚田に至る沿道森林の枝打ち・間伐を実施して整然とした緑の立木の美しさで山の魅力を表現して歓迎することを真剣に考えたかどうか。

答 弁：連谷地区では昨年からの景観整備事業として、千枚田保存会のメンバーが中心となり、休耕田の復田や沿道森林の間伐等を実施し、大変見晴らしが良くなる等、地元の方の努力により大きく変貌しております。

NPO については、現在「NPO 穂の国森づくりの会」のほか「森林真剣隊」が立ち上げる準備をしています。

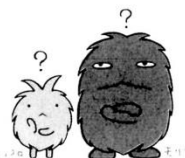
棚田サミットは、開催するためだけの一過性の整備に終わることなく、今後、永く祖先の残してくれた貴重な文化遺産として、また、景観や機能を守っていくための努力が必要であり、今回の棚田サミットはそのきっかけであると考えております。

四谷の

# 千枚田だより

第 19 号

荒起こし 済みし 棚田に  
下りまちて 何をあさるか  
二羽のセキレイ  
松下原田貞女



全国棚田(千枚田)連絡協議会

## 田中卓二さん

### 千枚田を訪れる

三月二日、お助け隊の若い衆と第十回棚田サミット（佐賀県藤野の棚田）でお友達になった田中さんが千枚田を訪れました。

当日はお助け隊の若い衆と千枚田を散策、そして、千枚田が一望できる海源庵で愉快な、楽しい(好き勝手な)懇親会が行われました。

### 田中卓二さん

国土交通省北海道局農林水産課開発専門官。前職の農水省農村整備課では、農村地域における自然再生関連施策、里地棚田保全整備事業等の棚田関連対策等に関わる。また、趣味で作詞・作曲も手がけ、棚田をテーマにした「棚田にて」他多くのCDを製作、発表

田中さんは「ふるさと水と土ふれあい事業」で完成した景観道など、各施設が「景観を損なわない」、「棚田にそぐった」整備がされていることに大変喜んでおられました。

## 景観整備

二月二十七日(日)、千枚田入り口付近で昨年春に伐採した杉の木や、枝葉の片付け、また、天王橋付近の田んぼの陰になる木立の伐採などを行いました。当日はお助け隊、保存会員ら、総勢三十人余りが景観整備に励みました。



また、当日は支援グループ(稲作プロジェクトチーム)のメンバー約三十人が、水車小屋付近の伐採した杉丸太の片付け作業を行いました。

## 連谷小学校だより(抜粋)

二月十九日(土)に行われた「みんなでわくわく千枚田サミット」における児童の感想文を紹介します。

〔講演〕本日に千枚田のことを守りたいんだなあと思いました。(遥)

「プランターづくり」いっぱいの人々が千枚田に来てくれるから、花でむかえようという話を聞いて私は「すばらしいアイデアだなあ」と思いました。おじいちゃんやおばあちゃんがたくさん来てやっているの、それを見て私は「たくさんの人に千枚田を知ってもらいたいんだなあ」と思いました。(萌生)

私は、千枚田サミットに来るお客さんにきれいな花とプランターのわくを見てもらうだけでなく、千枚田に関心をいだいてほしいと思いました。(奈央)

## 役員会

三月十六日(水)、連谷会館において役場を交え、役員会が行われました。

### ○サミット関係

役場担当者から第一回、二回の実行委員会における決定事項およびサミット関連(分科会など)の進捗状況の説明がありました。

○愛知万博、愛・地球博の会場で行われる「地球の授業」のインストラクター(指導員)の依頼がありました。

要件は、ひと昔前の棚田の農作業を八月十五日から二十一日までの間(30人×一日3回)はぎ架け、脱穀(こぼし)、唐箕、糶摺りなど一連の農作業の一部を参加者に体験させるものです。昔の農業知識を子供達に教える意欲のある方を募集しています

連絡先・保存会役員または

松下誠(350274)

## げなげな断

### キツネ岩とタヌキ岩

小やど(丸山一虎さん)の近くに、山津波の時の転石を大割した石(田んぼを造るため)が沢山置かれとる。その、石の穴にいつの間にかキツネが棲みつき、草履やグローブがだくさん運ばれておるだげな、村人は「キツネ岩、キツネ岩」と言つて、うす気味悪がつておるだそうな。

また、林道のちよつと上の巨岩の下に何畳もある広さの穴があり、そこにはタヌキの溜糞がいつもあつて、タヌキ岩と呼ばれておるそうな。そのタヌキ岩は一昨年の大雨で山崩れのあつた災害復旧の時、重機が通れなく、割ってしまっただそうなげな。

行 平成十七年三月二十日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
発 文 責 小山舜二